

(参考1)

新・生物多様性国家戦略の構成

前文	【経緯・計画の役割】	
	■ 見直しの経緯	■ 前回戦略のレビュー
		■ 新戦略の性格・役割
第1部 生物多様性の現状	【問題意識】生物多様性の3つの危機	【現状分析】
	■ 第1の危機 人間活動に伴うインパクト	■ 社会経済状況 社会経済動向 国民意識の変化
	■ 第2の危機 人間活動の縮小に伴うインパクト	■ 生物多様性の現状 世界・日本の概況 種・生態系の現状
	■ 第3の危機 移入種等によるインパクト	■ 保護制度の現状 国土利用計画体系 環境省の保護施策
第2部 理念と目標	【理念と目標】	
	■ 5つの理念 人間生存の基盤 世代を超えた安全性、効率性の基礎 有用性の源泉 豊かな文化の根源 予防的順応的態度(エコシステムアプローチ)	
	■ 3つの目標 種・生態系の保全 絶滅の防止と回復 持続可能な利用	■ 生物多様性のグランドデザイン ・国土のマクロな認識 ・国土のあるべきイメージ
第3部 生物多様性保全及び 持続可能な利用	【対応の基本方針】	【個別方針】
	■ 3つの方向 保全の強化 自然再生 持続可能な利用	■ 主要テーマ別取扱い方針 重要地域の保全と生態的ネットワーク形成 里地里山の保全と持続可能な利用 湿原・干潟等湿地の保全 自然の再生・修復 野生生物の保護管理 ・種の絶滅の回避 ・移入種問題への対応 自然環境データの整備 効果的な保全手法等 ・環境アセスメントの充実 ・国際的取組
	■ 基本的視点 科学的認識 統合的アプローチ 知識の共有・参加 連携・共同 国際的認識	
	■ 生物多様性からみた国土の捉え方 国土の構造的把握 植生自然度別の配慮事項	
第4部 具体的施策の展開	【個別施策・各省施策】	
	■ 国土の空間的特性・土地利用に応じた施策 森林・林業 農地・農業 都市・公園緑地・道路 河川・砂防・海岸 港湾・海洋 漁業 自然環境保全地域・自然公園 名勝・天然記念物	■ 横断的施策 野生生物の保護管理 生物資源の持続可能な利用 自然とのふれあい 動物愛護・管理
		■ 基盤的施策 調査研究・情報整備 教育・学習・普及啓発・人材育成 経済的措置等 国際的取組
第5部 戦略の効果的实施	【まとめ】	
	実行体制と各主体の連携 各種計画との連携 国家戦略実施状況の点検と国家戦略の見直し	